

2022 年度「世界における自動車電動化、公道自動運転及びこれに伴う新サービスに係る法制度を含む実施状況及び展開予測の俯瞰的比較調査」に係る

公募 Q&A

Q1: 仕様書2.(1)に記載の電動化の普及にかかる3要素、A.車両性能、B.購入価格と維持コスト、C.充電インフラ・充電時間のうち、A.車両性能についての具体的な調査項目を確認したい。

A1: 車両性能の向上が消費増への好影響となり、これも含めた結果が2030年時点での総需要に繋がると考えております。この想定の下、指定セグメント別の電動車(EV,PHEV)と水素自動車の内燃機関車両も含めた全体需要の中での台数、シェアの算定をお願い致します。

Q2: 対象国について、「米、中、欧州(北欧3国、英を必ず含む)、日本、ASEAN(タイ、インドネシアを想定)、韓国等10カ国以上。*NEDOと協議の上選定する。」とあるが、対象国数を削減することは可能か？また、現時点で想定している国はあるか？

A2: 今回の調査は電動化と自動化のベストプラクティスを網羅的に整理して、成熟国やこれから動きが加速すると予想される発展途上国も含めた、世界での大きな流れを把握し考察する調査を目指しております。現状、多数の国で動きが出ており、重要な情報を整理していくと、結果として10ヶ国以上を網羅する必要があるのではないかと考えます。ただ、国によって入手できる情報量には濃淡があると思われるため、どのくらいの粒度の情報で整理するか等は、随時NEDOと協議の上進めていただくこととなります。

また、現在想定している国としては、米、中、日と、電動化施策が進んでいると思われる英国、北欧(一部は新モビリティでも先進的)、欧州では市場の大きいドイツ、アジア ASEAN 地域では韓国、タイ、インドネシアなどを考えておりますが、その他対象とすべき国がございましたらご提案ください。

Q3: 提案書と中間、最終報告の言語について日本語と英語の指定を確認したい。

A3: 提案書と中間報告書については日本語、最終報告書は日本語と英語で作成お願い致します。

以上